

ニュース

みんなで作つくろう！
しまやけべいせま
下宅部遺跡はっけんのもり

第81号【'08-3月号】

発行：下宅部遺跡
はっけんのもりを育てる会
東村山市諏訪町1-6-3
TEL：042-396-3800
発行日：平成20年3月11日

4月19日（土）第72回育てる会

縄文土器の野焼きを 見に来ませんか？

平成20年4月19日（土）の第72回育てる会は「縄文土器の野焼き」です。3月の「縄文体験塾」で子供たちが作った作品や、会員が作り貯めた土器を焼き上げます。

タイオキシンの問題が顕在化して以来、焚き火の類に対する規制が強くなりました。近隣の市町村からも、土器の野焼きがやりづらくなつた、できなくなつた、という声が聞こえてきます。

育てる会の野焼きで燃やしてきた薪は、基本的に自然木の薪です。建築廃材等は使っていないので安心してください。最初の頃は、かつて茅葺き民家の囲炉裏で燃やすために蓄えていた薪を使っていました。それが尽きてからは、街路樹の枝払いをしたものを貰ってきたり、キャンプ用に市販されているものを買ったこともありました。

今は、ふるさと歴史館を通して「野山北・六道山公園管理所」の協力を受けられるようになり、公園内の倒木などを裁断して粗割をした木材を提供し

ていただいています。今回も、3月22日（土）の午後に貰いに行く予定です。使用する粘土は、下宅部遺跡の川底から採取した粘土や、何種類もの市販の陶芸用粘土、これらをブレンドしたものなど、いろいろ試行錯誤を繰り返しました。混和剤として混ぜる砂の量によっても変化が出ます。自前で専門の会社に焼成温度の分析を依頼した会員さんもいます。

現在は、下宅部遺跡の粘土を使用しています。これに川砂を重量比10%混ぜ込みます。この粘土は野焼きに非常に適しており、焼成時に割れることはほとんどありません。ただし、成形時にはやや扱いづらく、ひびが入りやす

いので、丁寧にひびを潰しながら作ります。土器を十分に乾燥させてから本番の野焼きをしますが、心配なのはお天気です。途中から大嵐になり、雨で焚き火が瞬く間に消え、土器や土笛が粘土に戻ってしまったこともありました。風が強過ぎると炎が大きくなって危険です。うららかな春の日よりを期待しています。

開催日 平成20年4月19日（土）
時間 午前9時から午後4頃まで
場所 下宅部遺跡はっけんのもり
問い合わせ ふるさと歴史館
042-396-3800



平成19年11月17日の野焼き（予熱中）



今回焼く土器と土笛（一部）

《特別寄稿》

「糸が布になる！」

所沢市立小手指公民館 講座

「初級 みんなの考古学」担当者

こんにちは、所沢市にあります小手指公民館です。当館では、初心者でも考古学を楽しめるきつかけづくりをしたいと思い、「初級 みんなの考古学」という講座を開催しています。

考古学に接しようとする普通は、本やインターネットやガラスケースの中を見るといった「勉強」だけになりがちです。そこで今年は、「勉強」から一歩進んで「体験」して楽しんでほしい、更にはほんの少しでもいいから実際に「体験」したい、と考えました。そのような訳でこの度、「はっけんのもりを育てる会」の活動のお話をうかがい、そして「アンギン部会」の皆さまからアンギン編みを教えていただくことになりました。

今回（3月1日土曜日）参加したメンバーは、アンギンという名前は聞いたことがあっても、体験したことはあ

りませんでした。最初は難しい顔をしてきたメンバーでしたが、慣れてくるにつれて徐々に手際がよくなり、アンギンの目も少しずつ揃い始めて（と素人には見えましたが）、やがて表情が生き生きとしてきました。中には「ハマっちゃいそう」という声も。

糸が布になる！縄文の技の奥深さに、思いを馳せることができたように思います。

「はっけんのもりを育てる会」の皆さんは、「東村山ふるさと歴史館」と「はっけんのもり」を舞台に、発掘調査が終わった遺跡を過去のものとするのではなく、「育てる」という方法で今も楽しんでいらつしやいます。それはまるで、遺跡を楽しみたい1人1人の「糸」が、はっけんのもりという「布」を編んでいるようにも見えました。

一方、こちら所沢市で考古学に接するには、埋蔵文化財調査センターや、

公民館が開催する単発もしくは数回の講座くらいしか機会がありません。

私たちは所沢市民で埼玉県民、皆さんは東村山市民で東京都民。ではあります。無かったのですから、ただ単にヤマの南側と北側。子孫ともいえる私たちにとしてはどちらも「ふるさと」の範囲内といえるでしょう。

今後も、所沢からお邪魔することがあると思いますが、どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

この度は本当にありがとうございました。楽しかったです。



アンギン編み体験の様子

育てる会

今後の予定

- 3月15日（土）午前10時から
第71回育てる会「縄文体験塾」
（ふるさと歴史館）
- 3月22日（土）午前9時から
除草・清掃作業（はっけんのもり）
薪運び（野山北・六道山公園）
- 3月23日（日）午後1時30分から
縄文土器部会（ふるさと歴史館）
- 3月25日（火）午後1時30分から
アンギン編み部会（ふるさと歴史館）
- 4月1日（火）午後1時30分から
縄文アンギン部会（ふるさと歴史館）
- 4月2日（水）午後7時から
育てる会総会（ふるさと歴史館）
- 4月6日（日）午後1時30分から
縄文土器部会（ふるさと歴史館）
- 4月8日（火）午後1時30分から
ニュース印刷発行（ふるさと歴史館）
- 4月12日（土）午前9時から
除草・清掃作業（はっけんのもり）
- 4月19日（土）午前9時から
第72回育てる会「野焼き」
（はっけんのもり）
- 4月26日（土）午前9時から
除草・清掃作業（はっけんのもり）

東村山ふるさと歴史館からの お知らせです

東村山ふるさと歴史館から、(仮称)縄文体験館の名称の募集とワークショップ開催に関する通知が届きましたので、会員・読者の皆さんにお知らせします。はっけんのもりを育てる会は、過去にこの施設の建設要望書を東村山市に提出しており、完成後も連携した活動を望んでいます。ご参加ください。

お知らせ！ (仮称) 縄文体験館

なまえ募集&ワークショップ開催

現在、野口町3丁目、北山公園の一角であるかやぶき民家園跡地では、来年の春開館を目指して「(仮称)縄文体験館」の建設工事が進んでいます。

この新しい施設は、下宅部遺跡から見つかった多量の貴重な遺物を収蔵・保管するばかりではなく、それらの積極的な



コンセプトは八国山の自然と人とのカンケイ

また、楽しく活用するために意見交換をしながらつくりあげていく場として、「楽しいたいけん館をつくらう！ワークショップ」も開催し、一緒に活動してくださる方々を募集いたします！

ごちらもみなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

活用をはじめ、八国山の入口にあるという立地を活かした、工作や自然に親しむ遊び、散策など、広くみなさんに楽しんでいただけるような施設運営を目指しております。

そこで、多くの市民の方がこの施設に関心をもつていただくきっかけとして、この施設の建物の名称を募集します！

【名称募集】

☆①体験館のコンセプトに適していること

②市民に親しみやすいこと

を満たした名称を募集します。

応募方法：考案された名称、氏名、電話番号を明記し、ハガキ・電子申請・ファックスにてふるさと歴史館にご応募ください。

〆切：4月30日(水)

宛先：〒189-0021 東村山市諏訪町 1-6-3

・FAX042-396-7600

【楽しいたいけん館をつくらう！

ワークショップ】

日時：平成20年3月20日(祝)

13:00～17:00

場所：ふるさと歴史館 視聴覚室

内容：体験館の概要説明、名称募集について、意見交換など。

※参加自由。今後も第2日曜日ごとにワークショップを開催予定。